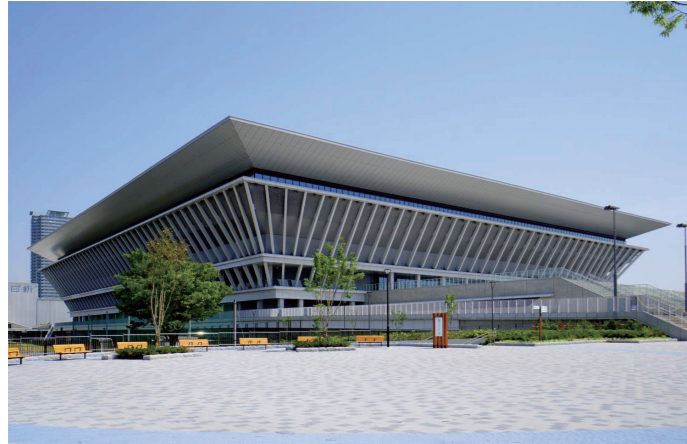


# 東京アクアティクスセンター



外観

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、新たに整備された水泳競技施設。現在は、観客席を約5000席に縮小したが、国内外の主要な大会の開催や幅広い利用者の健康増進などに活用されている。



1F南西エリア  
トイレ入口



設備内容がひと目でわかりやすく表示された、トイレ入口のピクトサイン。車いす対応トイレ、男女共用トイレともに扉は、十分な開口が取れる引戸となっている。



1F南西エリア  
男性トイレ 洗面コーナー

男女トイレとも、洗面カウンターの1ヶ所にさまざまな身体状況の方に配慮した手すりを設置。また、乳幼児連れの方に配慮してベビーシートも設置している。



1F南西エリア  
男性トイレ  
小便器・大便器コーナー

小便器は、清掃性のよい壁掛型の自動洗浄小便器を採用。足元には、防汚・防臭効果のあるハイドロセラフロアPUを設置している。また、男女トイレとも大便器ブースには、L型手すりを設けている。



1F南西エリア  
女性トイレ  
ひろびろブース



男女トイレ内に、ひろびろブースを1ヶ所設置。また、聴覚障がい者に配慮し、災害などの有事を発光で知らせることができるフラッシュランプを設置している。



1F南西エリア  
男女共用トイレ



異性介助や性的マイノリティなど多様な方に配慮した男女共用トイレを設置。トイレ内には手洗器やフィッティングボードのほか、プライバシーを確保するためのカーテンを備えている。



1F南西エリア  
車いす対応トイレ

車いす使用者やオストメイトなど、さまざまな身体状況の方に対応できる設備を完備。コンパクトオストメイトパックや多目的シートも設置している。



1F東中央エリア  
女性更衣室

メインプールとダイビングプール共通の広々とした更衣室には、洗面器を多数設置し、混雑緩和に配慮。更衣室のほかに、シャワールームやトイレ、車いす対応トイレが設けられている。

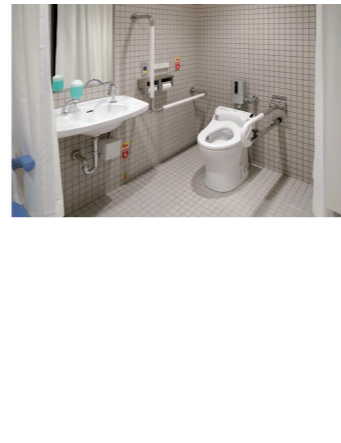


1F東中央エリア  
女性更衣室  
車いす対応トイレ

大型ベットの備えた車いす対応トイレには、必要な器具がパッケージされたコンパクトノリアフリートイレパックを採用。床と壁は、競技で濡れた状態でも利用できるようにタイルを使用している。



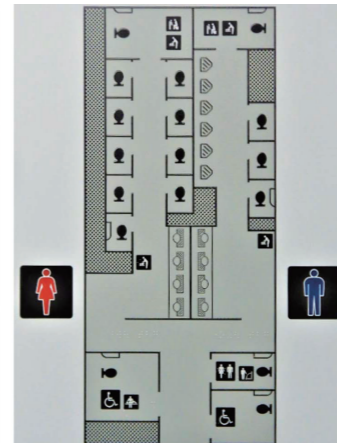
1F東中央エリア  
家族更衣室



介助が必要な方や性的マイノリティの方など、男女別の更衣室の使用に抵抗がある方に配慮し、家族更衣室を設置。車いす使用者が使えるスペースを確保したトイレとシャワーなどが備わっている。



2F南西エリア トイレ入口



2F観客エリアは、車いす使用者に配慮した車いす対応トイレと多様な利用者に配慮した男女共用トイレを、男女別トイレに隣接して、通路入口に配置。車いす対応トイレは左右勝手違いで用意している。



2F南西エリア  
車いす対応トイレ入口



車いす対応トイレと男女共用トイレがひと目でわかるように、ピクトサインを大きく掲示。扉はどちらも引戸を採用している。

# 東京アクアティクスセンター



2F南西エリア  
車いす対応トイレ

観客席からのアプローチのしやすさを考慮し、トイレ入口に配置された、車いす対応トイレ。パブリック用折りたたみシートと、コンパクト・バリアフリートイレパックを採用している。



2F南西エリア  
男女共用トイレ

異性介助や性的マイノリティなど多様な利用者に配慮した男女共用トイレ。用足しから手洗いまでを個室で行える個室完結型トイレとし、プライバシーを確保できるカーテンも備わっている。



2F観客エリア  
カームダウン・  
クールダウンスペース

観客エリアには、観戦による興奮やストレスを落ち着かせる「カームダウン・クールダウン」スペースを設置している。



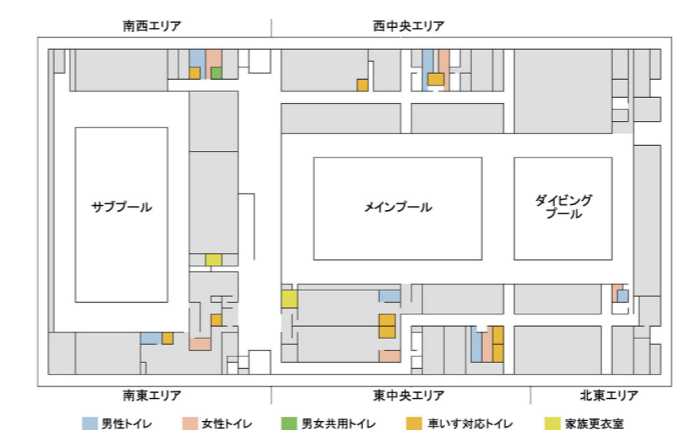
2F南西エリア  
男性トイレ 洗面コーナー

男女トイレとも、洗面カウンターの1ヶ所は、車いす使用者に配慮し、足元空間を広くとっている。さらに、通路もすれ違いができるよう、十分なスペースを確保している。



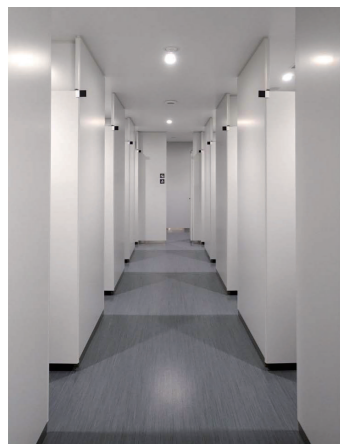
2F南西エリア  
男性トイレ  
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を設置。排水管内の尿石発生を抑制するため、使用後の毎回洗浄に加え、定期的に排水管洗浄するインターバル洗浄機能を搭載している。



1F全体図面

1Fは、メインプール、サブプール、ダイビングプールがあるプール利用者用エリア、2F~4Fは観客エリアとなっている。トイレは、車いす対応、オストメイト、乳幼児対応などを、機能分散してバランスよく配置している。



2F南西エリア  
女性トイレ  
大便器コーナー

フラッグ型のサインを設置し、ブースの空き状況がひと目でわかるように配慮。すべてのブースにL型の手すりを設置している。



2F南西エリア  
女性トイレ  
ひろびろブース

男女トイレ内にそれぞれ、乳幼児連れに配慮して、ベビーチェアやベビーシートを設置したひろびろブースを1ヶ所設置。車いす対応トイレなどへの利用集中を避けるため、機能分散を図っている。



1F南西エリア トイレ図面

1F南西エリアのトイレには、男女トイレのほか、車いす使用者やオストメイトなどに対応した車いす対応トイレと、利用者を限定しない男女共用トイレを設置している。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

「東京アクアティクスセンター」は、東京都江東区の辰巳の森海浜公園に、東京2020大会に向けて東京都が新たに整備した水泳施設。東京2020オリンピック競技大会では、水泳競技(競泳、飛び込み、アーティスティックスイミング)、パラリンピックでは競泳の会場であった。今回の会場整備にあたっては、組織委員会が策定した「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」を踏まえて、当事者や学識経験者からなる「アクセシビリティワークショップ」を設置した。当初、観客席15,000席(仮設席を含む)であったが、大会後は、観客席を5,000席に縮小し、国内外の主要な大会の開催やアスリートなどの育成、幅広い利用者のスポーツを通じた健康増進などに活用。また、施設の外周部に駐車場や植栽の整備を行った。

### 水まわりの特長

水まわりは、「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」に沿って整備。「車いす対応トイレ」「異性介助用の男女共用トイレ」「手すり付きトイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などがバランスよく分散配置されている。サインに関しては、分散したトイレ機能の情報を、使用者がなるべく早くそしてわかりやすく入手できるよう、各所にピクトグラムを掲示して、連続的に案内。色や文字を用いた案内は、視力が弱い方でも認識しやすいようコントラストを確保している。大便器は幅広い利用者を想定し、すべてにウォシュレットを設置。そのほかの器具も節水タイプの最新器具を採用。さまざまな利用者に配慮された、世界最高水準のユニバーサルデザインを実現した水まわり空間となっている。

## 建築概要

名称	東京アクアティクスセンター
所在地	東京都江東区辰巳2-2-1
施主	東京都
基本設計	株式会社 山下設計
実施設計	大林・東光・エルゴ・東熱異業種特定建設共同企業体 株式会社 昭和設計
施工	大林・東光・エルゴ・東熱異業種特定建設共同企業体(新築工事) 清水建設株式会社(改修工事)
竣工年月	2020年2月
敷地面積	161,935.78㎡
建築面積	26,699.04㎡
延床面積	50,633.73㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上4階

## おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494CKRA
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF584\* AUP系
- ウォシュレットP:TCF58\*系
- ウォシュレットHX:TCF50\*2R系
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900WR
- 洗面器:L525CMRU、L582CMS
- 台付自動水栓:TENA12AW
- 水石けん供給栓:TLK0520J
- クリンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- コンパクト・バリアフリートイレパック:UADA\*01L2A1AND1B系、UADA\*01R2A1AND1B系
- コンパクトオストメイトパック:UAS82LDB1NW
- 収納式多目的シート:EWC520ARS
- パブリック用折りたたみシート:EWC500RS
- ベビーチェア:YKA15S
- ベビーシート:YKA25S
- フィッティングボード:YKA41R